

茶話



日本の西洋カボチャが、西洋ではジャパニーズ

カボチャという言葉はカンボジアに由来し、中国では南方から伝わった瓜(ウリ)という意味で南瓜になりました。また南京(ナンキン)とも呼ばれ、日本には唐茄子(トウナス)という言葉もあって古典落語に出てきます。ただしこれらのカボチャは日本(東洋)カボチャ。西洋カボチャは幕末から明治にかけてアメリカ合衆国から入ってきました。

同じアメリカ大陸起源でも日本カボチャは暖かい中米あたり、西洋カボチャはアンデス山脈の高地。そのため西洋カボチャは伝来すると東日本や北日本に広まりました。

一般にカボチャは英語でパンプキンだと思われがちですが、アメリカやイギリスでは丸く大きく表面が黄色のカボチャ(ペポカボチャに入る)だけをパンプキンというそうです。ハロウィンのときに中身をくりぬいて行灯(アンドン)のようなものを作る、黄色いやつです。

カボチャの総称はスクウォッシュで、ズッキーニなども含みます。そして日本で栽培されている西洋カボチャは、ジャパニーズ・スクウォッシュやカボチャ・スクウォッシュと呼ばれているそうです。西洋カボチャがジャパニーズ！ なんと不思議な巡り合わせです。

カリフラワー



カリフラワー(アブラナ科 アブラナ属)

花椰菜・花甘藍

原産地 ヨーロッパの沿岸暖地

全国の主な産地 徳島県 愛知県 茨城県

道内の主な産地 音更町 伊達市 美瑛町

過去4回の試験で2問出題されています。

出題のポイント



○カリフラワーはアブラナ科の野菜で、近縁の野菜としてはケール、キャベツなどがある。

○カリフラワーは花蕾(カリイ)を食用とし、日本での需要が伸びたのは、昭和40年代に入ってからである。

○冷涼多湿な気候を好み、耐暑性、耐寒性に劣る。

○白いカリフラワーを栽培(生産)するために、品種により、縛葉(パクヨウ)、折葉(セツヨウ)、放任等の処理を必要に応じて行う。

○札幌市の市場における、6～10月は、道内産がほぼ100%である。